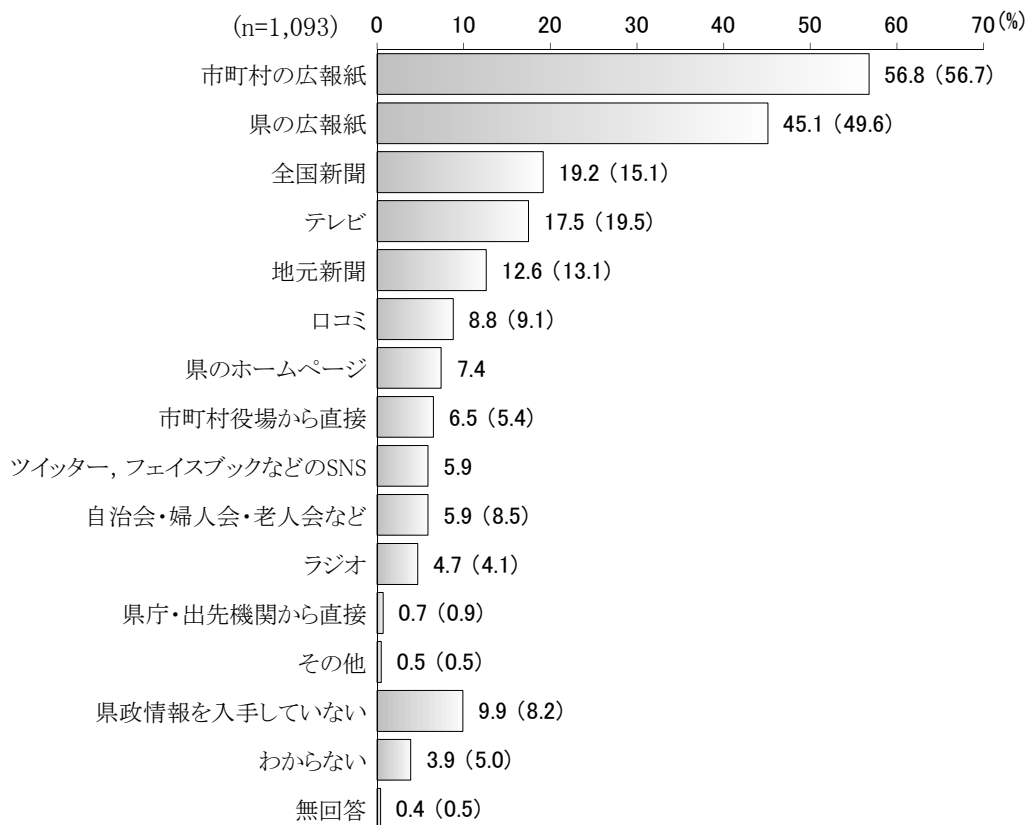


XV 広報活動

1. 県政情報の主な入手先

－「県の広報紙」は4割台半ば－

問42 あなたは、県の事業、行政サービス、イベント、お知らせや県議会の活動状況などの県政情報を主にどこから入手していますか。次の中から、主なものを3つまで選んでください。



※()内の数値は、平成27年の調査結果

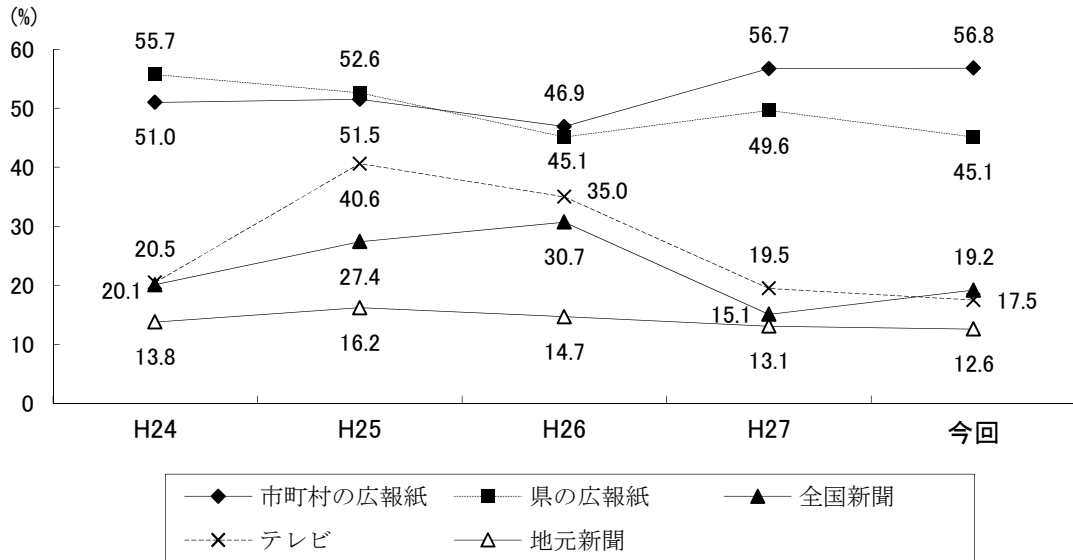
※「県のホームページ」「ツイッター、フェイスブックなどのSNS」は、平成27年では「インターネット」(10.8%)

県政情報の主な入手先としては、「市町村の広報紙」(56.8%)が5割台半ばと最も高く、次いで、「県の広報紙」(45.1%)が4割台半ばで続いている。

－「県の広報紙」は約5ポイント減少－

前回調査（昨年）と比べると、「全国新聞」が約4ポイント増加している。一方、「県の広報紙」は約5ポイント減少している。

図 XV 42-1 県政情報の主な入手先（時系列）



－県西で「市町村の広報紙」が6割台半ば－

地域別でみると、「市町村の広報紙」は、県西（63.0%）で6割台半ばと最も高くなっている。

－県央で「県の広報紙」が5割超－

地域別でみると、「県の広報紙」は、県央（52.3%）で5割を超えて最も高くなっている。

－女性で「市町村の広報紙」が男性よりも約7ポイント高い－

性別でみると、「市町村の広報紙」は、女性（60.4%）が男性（53.0%）よりも約7ポイント高くなっている。

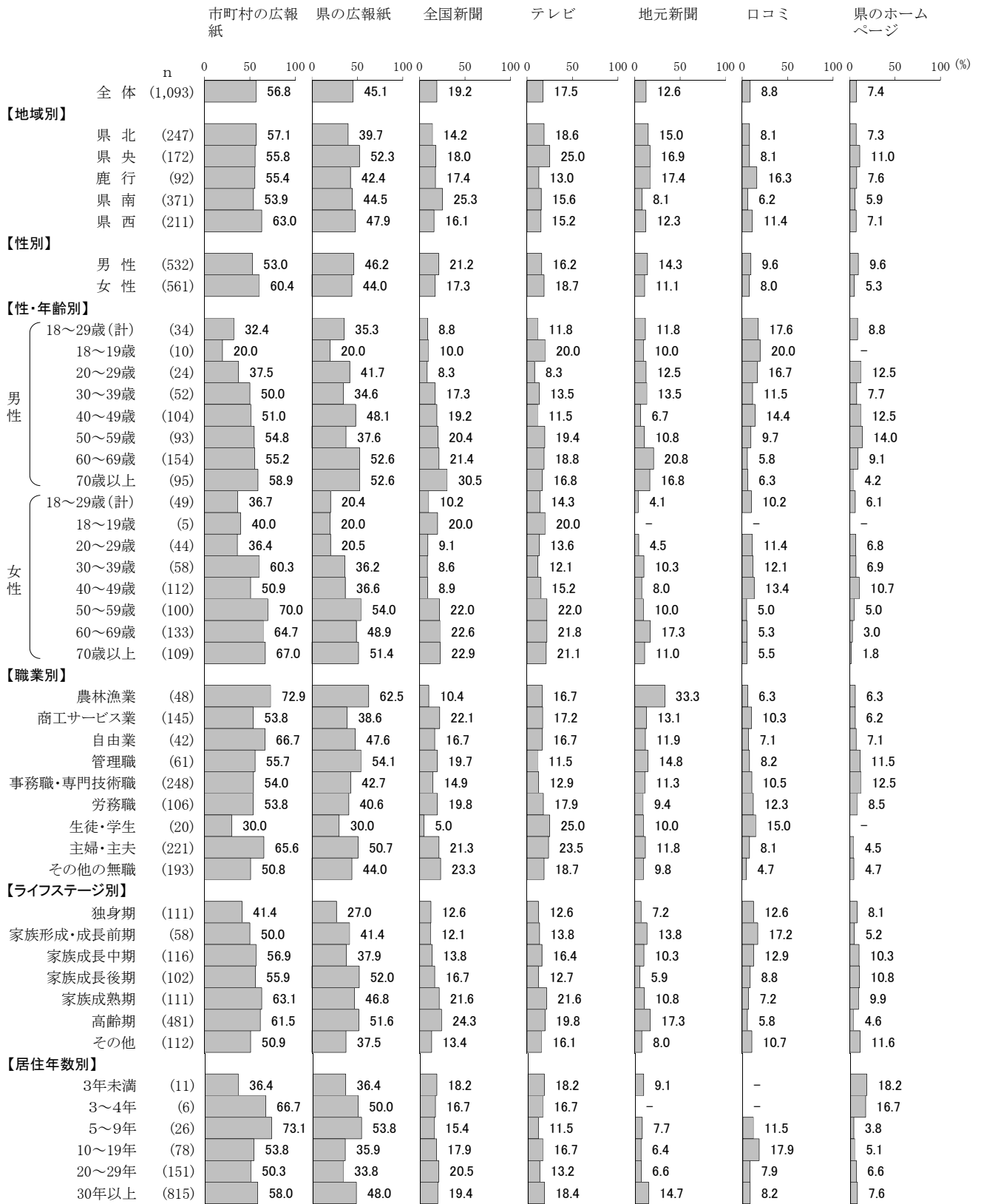
－女性の50代と70歳以上で「市町村の広報紙」が約7割－

性・年齢別でみると、「市町村の広報紙」は、女性の50代（70.0%）と70歳以上（67.0%）で約7割と高く、次いで、女性の60代（64.7%）で6割台半ばと高くなっている。

－男性の60代，70歳以上，女性の50代，70歳以上で「県の広報紙」が5割台前半－

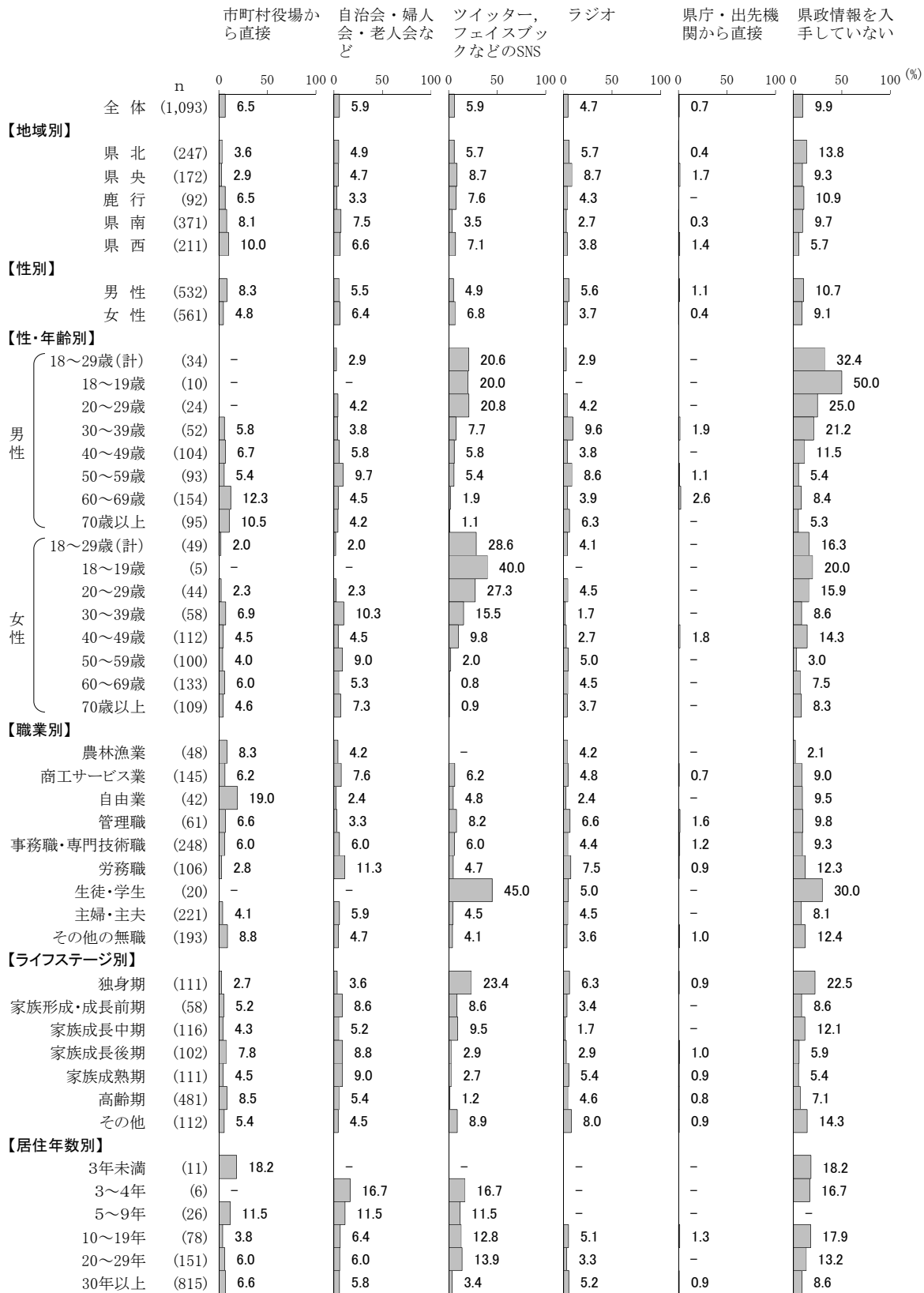
性・年齢別でみると、「県の広報紙」は、男性の60代と70歳以上（いずれも52.6%），女性の50代（54.0%），70歳以上（51.4%）で5割台前半と高くなっている。

図 XV 42-2 県政情報の主な入手先
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

〈続き〉図 XV 42-2 県政情報の主な入手先
 (地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)

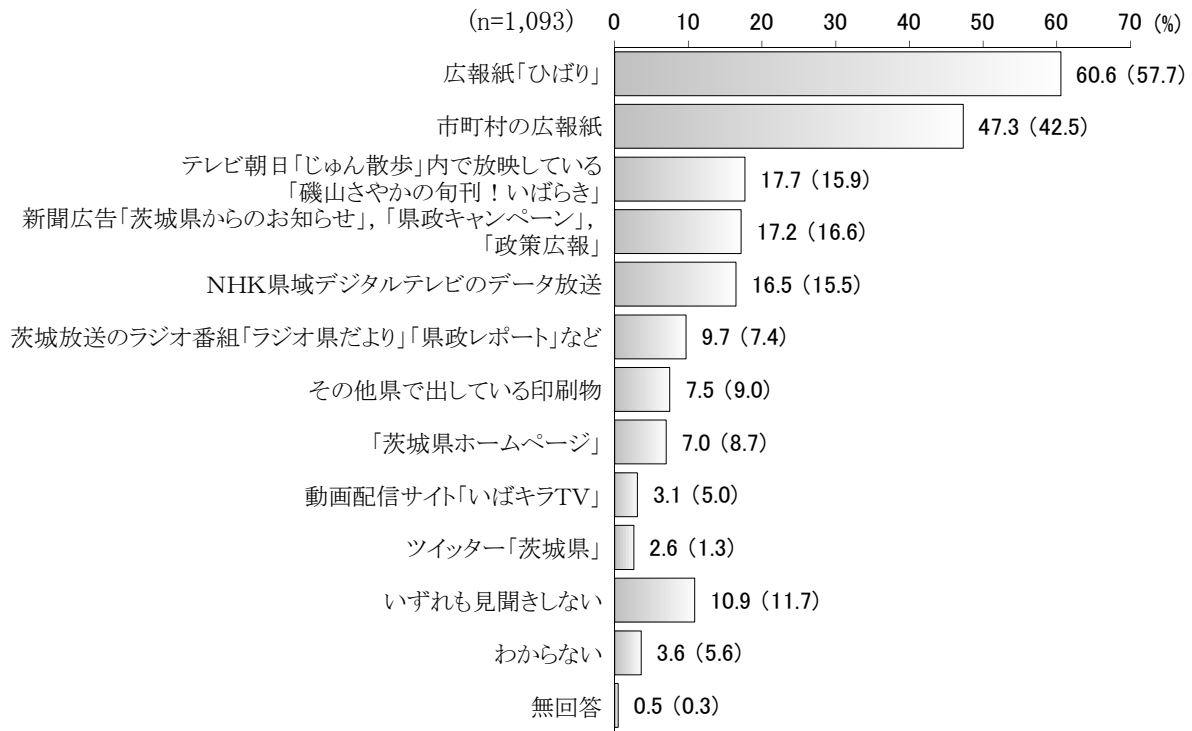


(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
 性・年齢別では, 18~19歳, 20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

2. 最近接触した広報媒体

－「広報紙『ひばり』」が約6割－

問43 県の事業，行政サービス，イベント，お知らせや県議会の活動状況などの県政情報について，この1年の間に一度でも見たり，聞いたり，読んだりしたものはどれですか。次の中から，あてはまるものをすべて選んでください。



※()内の数値は，平成27年の調査結果

※「テレビ朝日『じゅん散歩』内で放映している『磯山さやかの旬刊！いばらき』」は，平成27年では「テレビ朝日『若大将のゆうゆう散歩』内で放映している『磯山さやかの旬刊！いばらき』」

※「NHK県域デジタルテレビのデータ放送」は，平成27年では「NHK県域デジタルテレビの番組『いばっチャオ！』」

※「茨城放送のラジオ番組『ラジオ県だより』『県政レポート』など」は，平成27年では「県からのお知らせ『ラジオ県だより』『県政レポート』など」

※「動画配信サイト『いばキラTV』」は，平成27年では「インターネットテレビ『いばキラTV』」

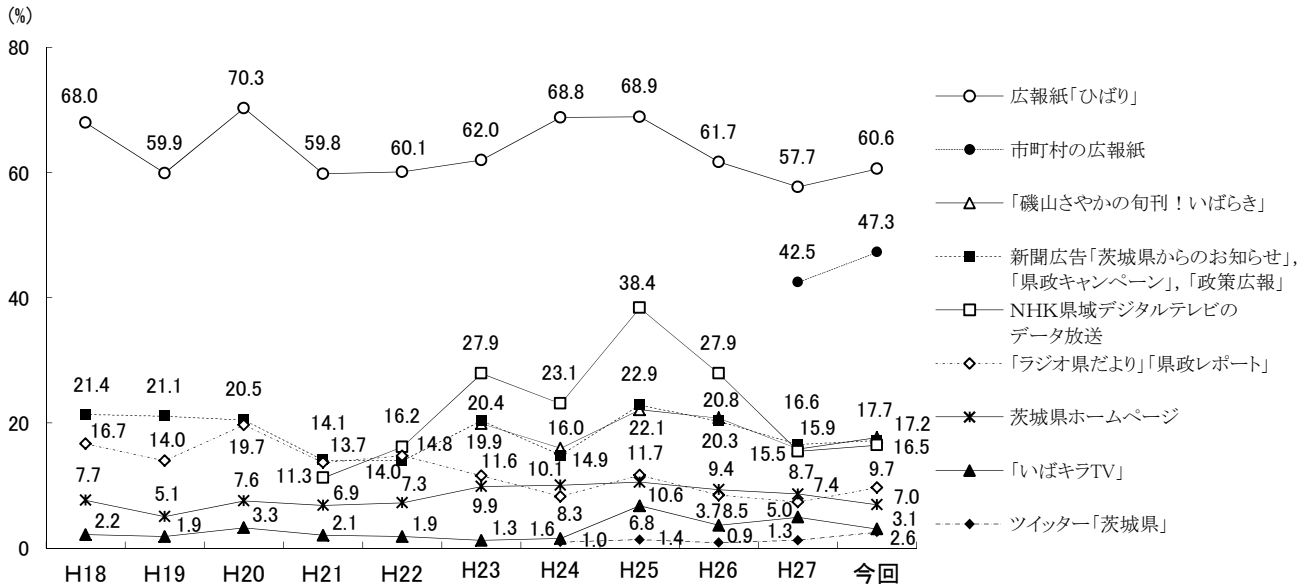
※「ツイッター『茨城県』」は，平成27年では「ツイッター『茨城県広報広聴課』」

最近接触した広報媒体としては，「広報紙『ひばり』」（60.6%）が約6割と最も高く，次いで，「市町村の広報紙」（47.3%）が4割台が続いている。

－「市町村の広報紙」が約5ポイント増加－

前回調査（昨年）とは選択肢が異なるため単純な比較はできないが、前回調査よりも「市町村の広報紙」が約5ポイント増加している。

図 XV 43-1 最近接触した広報媒体（時系列）



- ※「市町村の広報紙」は、平成27年より追加
- ※「磯山さやかの旬刊「いばらき」は、平成23年より追加
- ※「新聞広告『茨城県からののお知らせ』『県政キャンペーン』『政策広報』」は、平成22年までは「新聞広報『茨城県からののお知らせ』『県政キャンペーン』」
- ※「NHK 県域デジタルテレビのデータ放送」は、平成21年より追加、平成21年と平成22年では「まちむら中継」、平成23年から平成26年では「ライブいばらき」、平成27年では「いばっチャオ！」
- ※「ラジオ県だより」「県政レポート」は、平成23年までは「ラジオ県だより」「県政スポット」
- ※「いばキラTV」は、平成24年までは「いばらきインターネット放送局」
- ※「ツイッター『茨城県』」は、平成24年より追加、平成27年までは「ツイッター『茨城県広報広聴課』」

－県南で「広報紙『ひばり』」が6割台半ば－

地域別でみると、「広報紙『ひばり』」は、県南（65.8%）で6割台半ばと最も高くなっている。

－女性で「広報紙『ひばり』」が男性よりも7ポイント高い－

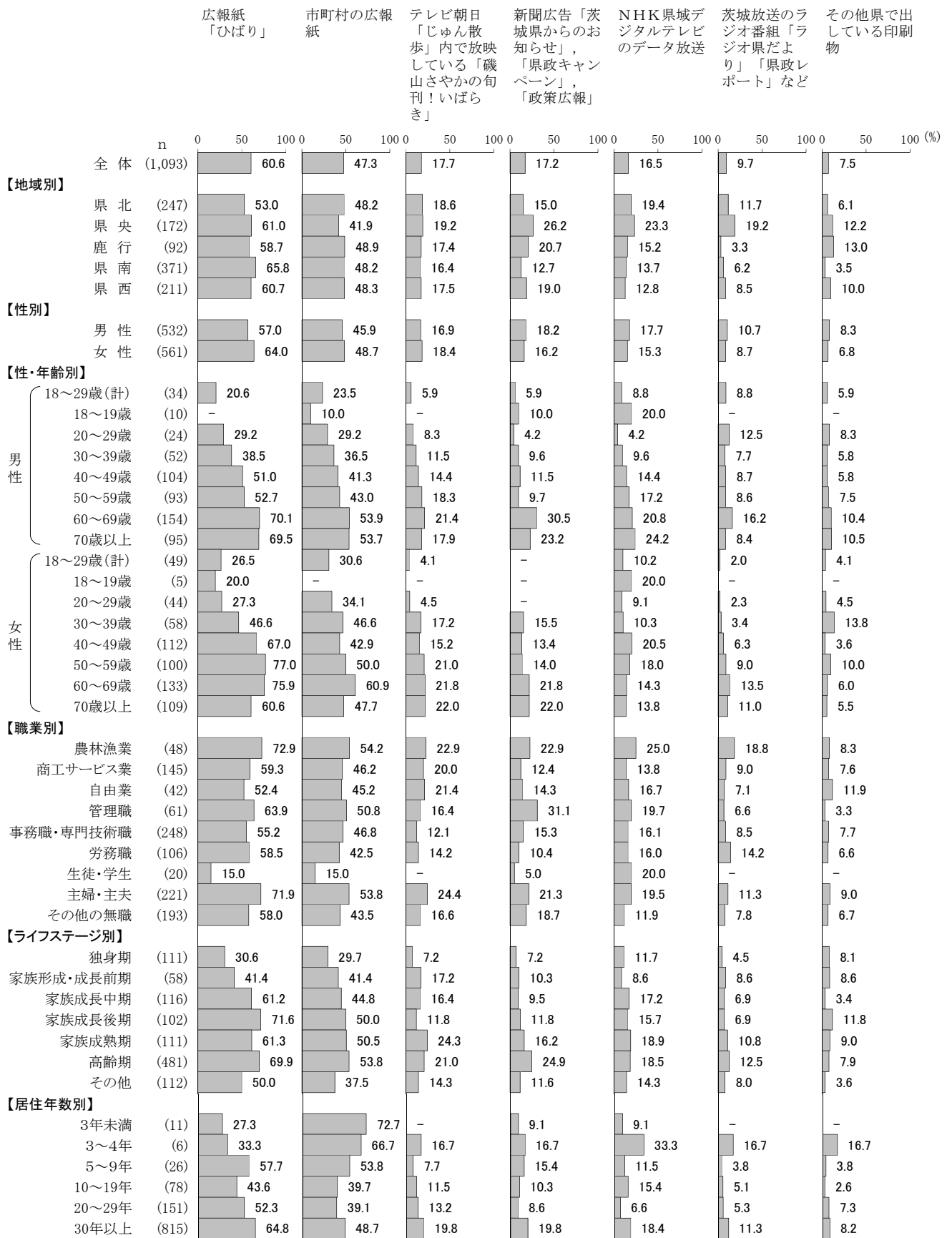
性別でみると、「広報紙『ひばり』」は、女性（64.0%）が男性（57.0%）よりも7ポイント高くなっている。

－女性の50代と60代で「広報紙『ひばり』」が7割台後半－

性・年齢別にみると、「広報紙『ひばり』」は、女性の50代（77.0%）と60代（75.9%）で7割台後半と高く、次いで、男性の60代（70.1%），70歳以上（69.5%），女性の40代（67.0%）で約7割と高くなっている。

図 XV 43-2 最近接触した広報媒体

(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別—上位7項目)

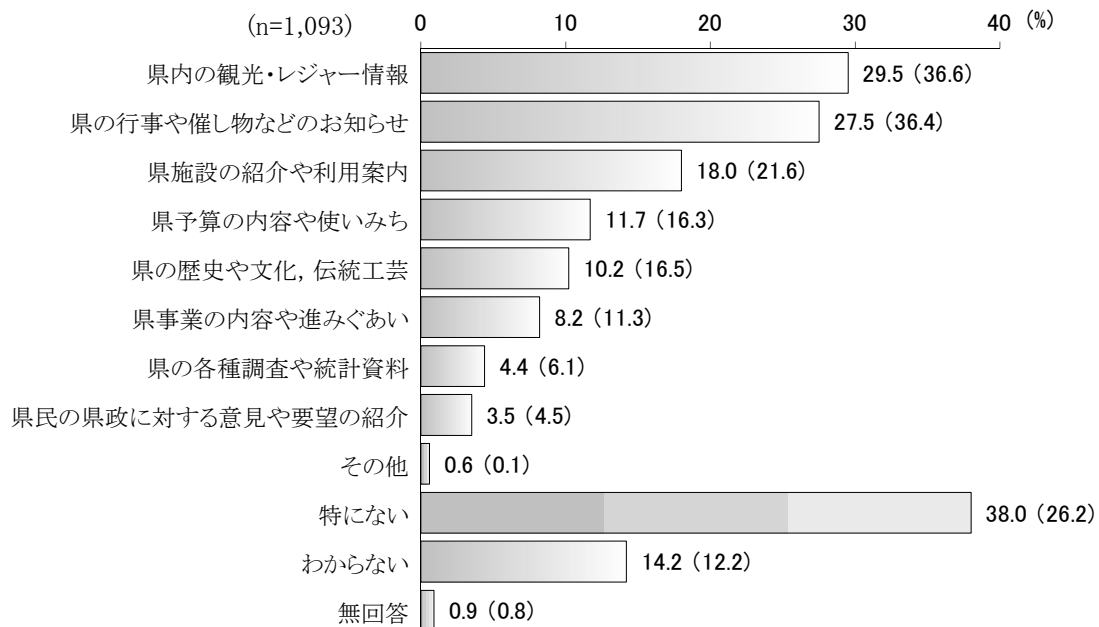


(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

3. 「伝わっている」と感じる県政情報

－「県内の観光・レジャー情報」と「県の行事や催し物などのお知らせ」が約3割－

問44 県では、主に以下のような情報をお知らせしていますが、「伝わっている」と感じる情報はどの情報ですか。次の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



※()内の数値は、平成27年の調査結果

「伝わっている」と感じる県政情報としては、「県内の観光・レジャー情報」(29.5%)と「県の行事や催し物などのお知らせ」(27.5%)が約3割と高く、次いで、「県施設の紹介や利用案内」(18.0%)が1割台後半で続いている。一方、「特にない」(38.0%)が約4割となっている。

－「県の行事や催し物などのお知らせ」が約9ポイント減少－

前回調査(昨年)と比べると、「県の行事や催し物などのお知らせ」が約9ポイント、「県内の観光・レジャー情報」が約7ポイント、「県の歴史や文化, 伝統工芸」が約6ポイント減少している。一方、「特にない」が約12ポイント増加している。

－県央で「県の行事や催し物などのお知らせ」が4割超－

地域別でみると、「県の行事や催し物などのお知らせ」は、県央(41.3%)で4割を超えて最も高くなっている。

－女性で「県の行事や催し物などのお知らせ」が男性よりも約6ポイント高い－

性別でみると、「県の行事や催し物などのお知らせ」は、女性(30.3%)が男性(24.6%)よりも約6ポイント高くなっている。

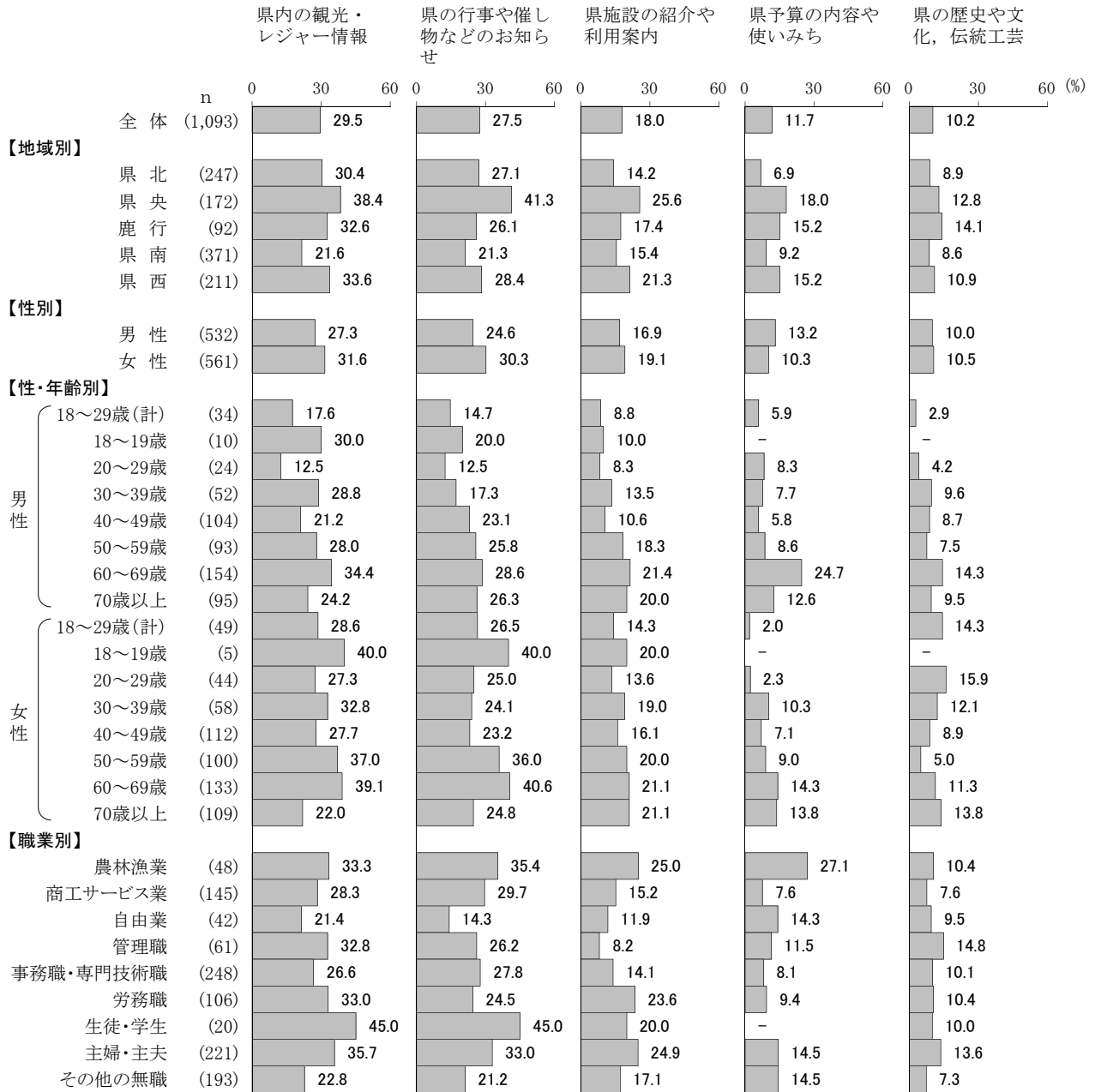
－女性の50代と60代で「県内の観光・レジャー情報」が約4割－

性・年齢別でみると、「県内の観光・レジャー情報」は、女性の50代(37.0%)と60代(39.1%)で約4割と高くなっている。

—女性の60代で「県の行事や催し物などのお知らせ」が約4割—

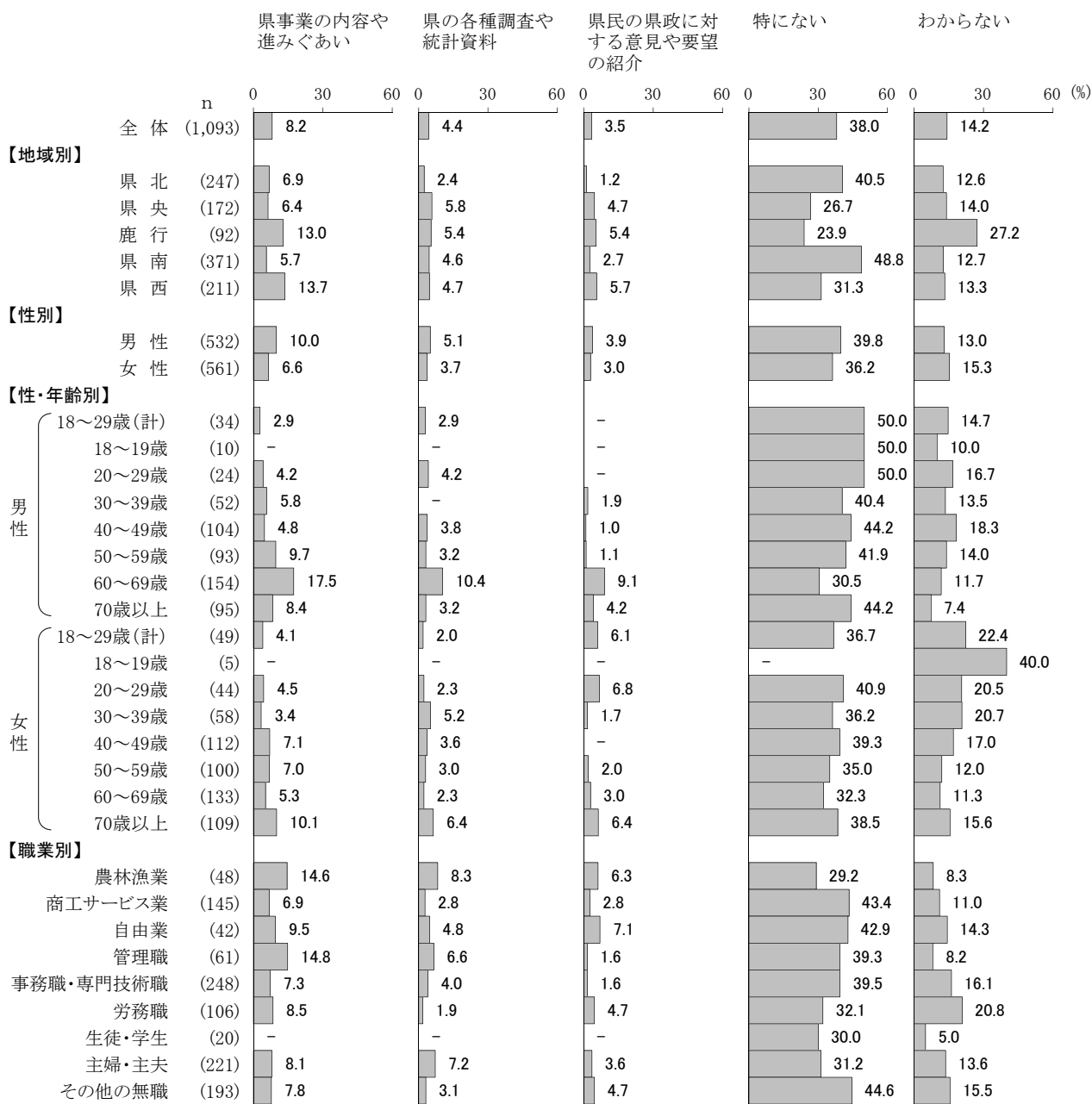
性・年齢別でみると、「県の行事や催し物などのお知らせ」は、女性の60代（40.6%）で約4割と最も高く、次いで、女性の50代（36.0%）で3割台半ばと高くなっている。

図 XV 44-1 「伝わっている」と感じる県政情報
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

〈続き〉図 XV 44-1 「伝わっている」と感じる県政情報
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

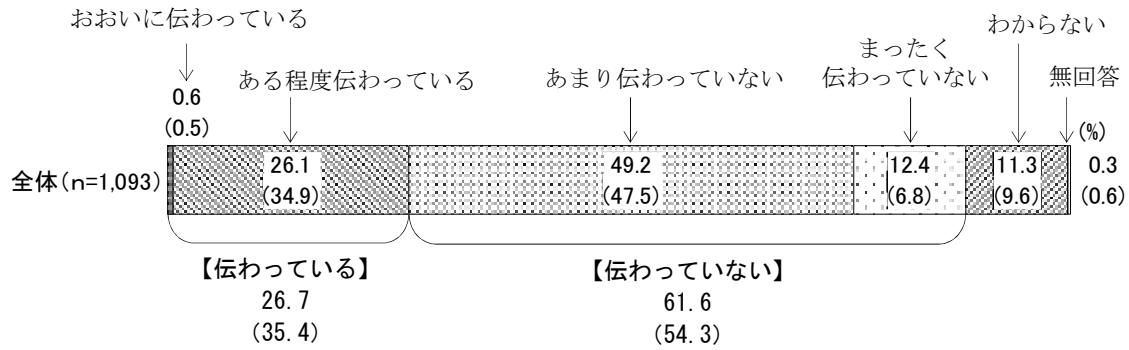
表 XV 44-1 「伝わっている」と感じる県政情報
(前回調査との比較-上位5項目)

	1位	2位	3位	4位	5位
今回調査 (H28)	県内の観光・レジャー情報	県の行事や催し物などのお知らせ	県施設の紹介や利用案内	県予算の内容や使いみち	県の歴史や文化, 伝統工芸
n=1,093	29.5	27.5	18.0	11.7	10.2
前回調査 (H27)	県内の観光・レジャー情報	県の行事や催し物などのお知らせ	県施設の紹介や利用案内	県の歴史や文化, 伝統工芸	県予算の内容や使いみち
n=1,105	36.6	36.4	21.6	16.5	16.3

4. 県政情報の到達度

－【伝わっている】は2割台半ば－

問45 県では、県の仕事内容、計画、行事などをさまざまな方法によりお知らせしていますが、県の事業、行政サービス、イベント、お知らせや県議会の活動状況などの県政情報は県民の皆さんに伝わっていると思いますか。次の中から、一番近いものを1つだけ選んでください。



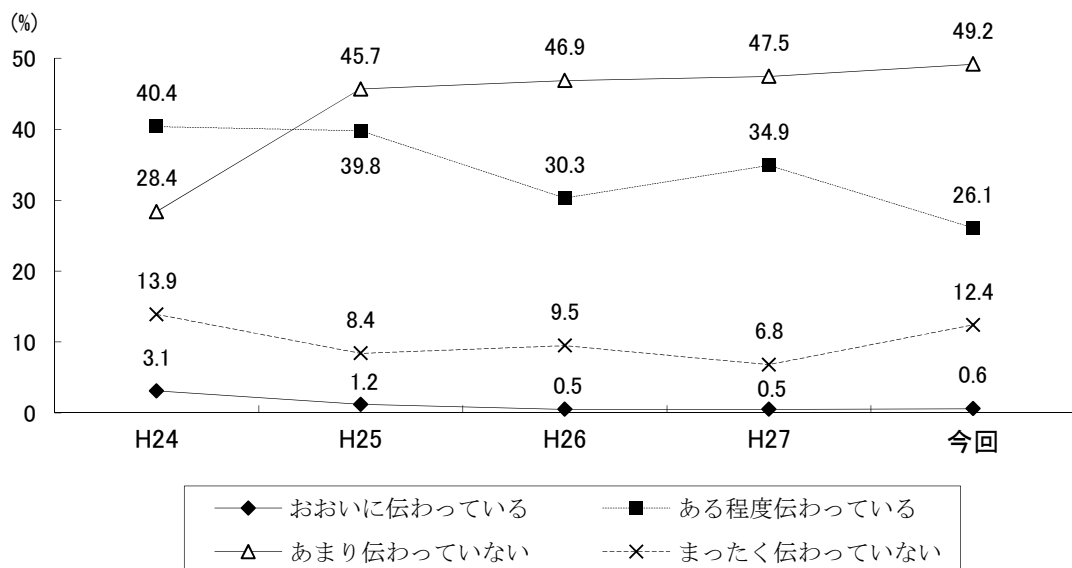
※()内の数値は、平成27年の調査結果

県政情報の到達度としては、「おおいに伝わっている」(0.6%)と「ある程度伝わっている」(26.1%)を合わせた【伝わっている】(26.7%)は2割台半ばとなっている。一方、「あまり伝わっていない」(49.2%)と「まったく伝わっていない」(12.4%)を合わせた【伝わっていない】(61.6%)は6割を超えている。

－【伝わっている】が約9ポイント減少－

前回調査(昨年)と比べると、【伝わっている】は約9ポイント減少している。内訳としては、「ある程度伝わっている」が約9ポイント減少している。

図 XV 45-1 県政情報の到達度(時系列)



一 県央，鹿行，県西で【伝わっている】が3割超一

地域別でみると，【伝わっている】は，県央（32.6%），鹿行（31.5%），県西（32.7%）で3割を超えて高くなっている。

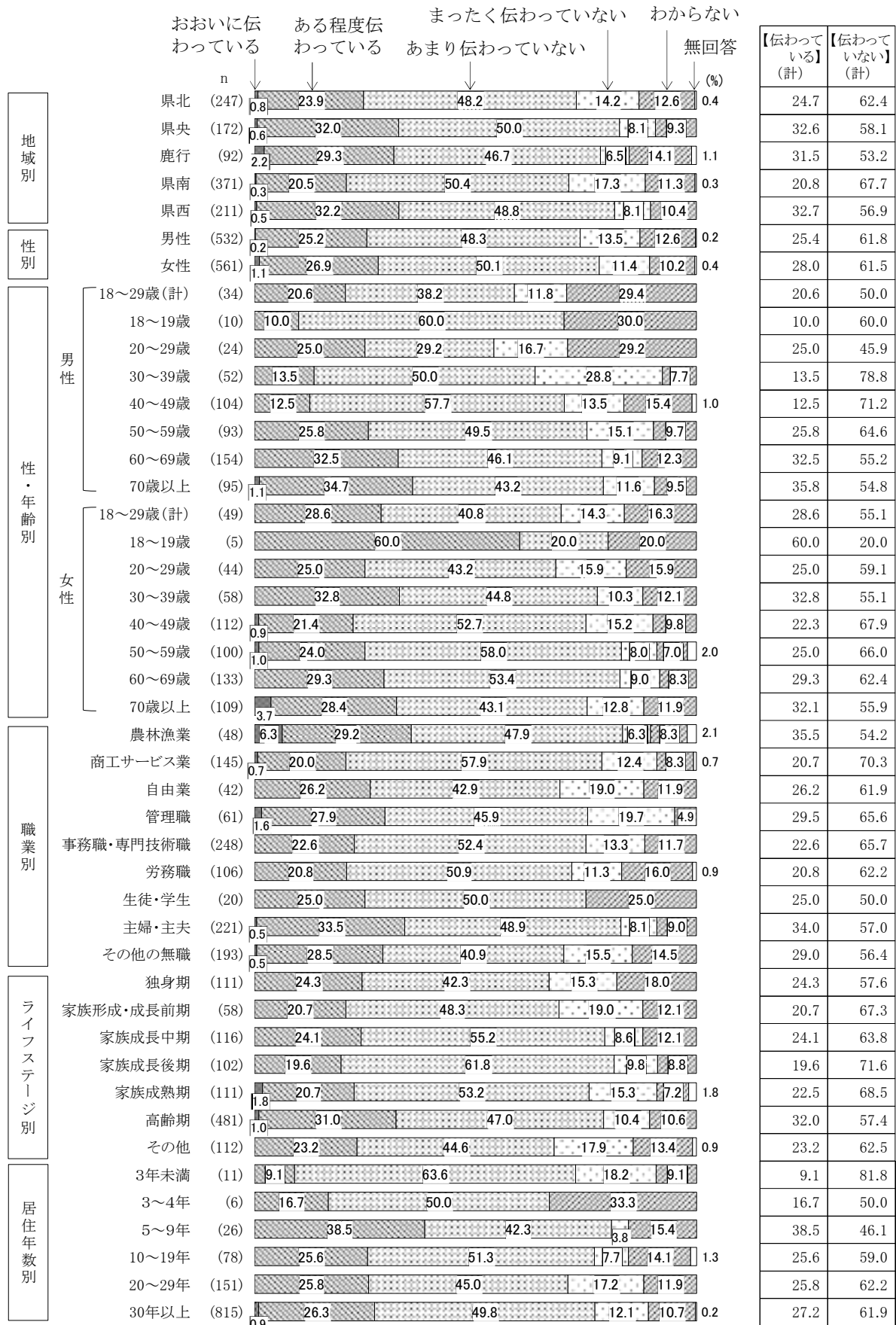
一 男性の70歳以上で【伝わっている】が3割台半ば一

性・年齢別でみると，【伝わっている】は，男性の70歳以上（35.8%）で3割台半ばと高く，次いで，男性の60代（32.5%），女性の30代（32.8%），70歳以上（32.1%）で3割を超えている。

一 農林漁業と主婦・主夫で【伝わっている】が3割台半ば一

職業別でみると，【伝わっている】は，農林漁業（35.5%）と主婦・主夫（34.0%）で3割台半ばと高くなっている。

図 XV 45-2 県政情報の到達度
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)

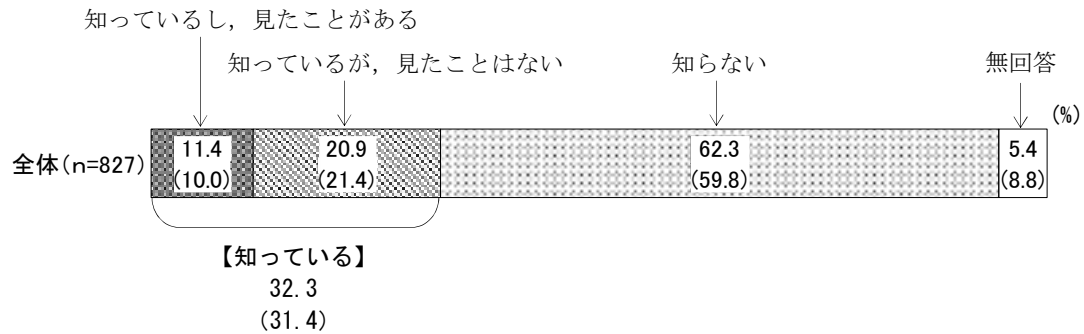


(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

5. いばキラTVの認知度

－【知っている】は3割超－

問46 (インターネットを見られる環境がある方にお伺いします。) 県では、平成24年10月1日から、動画により、スポーツやお祭り・イベント、グルメや美しい風景など、県や地域の様々な情報をインターネットを通じて配信する「いばキラTV」を運営していますが、あなたは「いばキラTV」を知っていますか。次の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



※()内の数値は、平成27年の調査結果

「いばキラTV」の認知度としては、「知っているし、見たことがある」(11.4%)と「知っているが、見たことはない」(20.9%)を合わせた【知っている】(32.3%)は3割を超えている。一方、「知らない」(62.3%)は6割を超えている。

－特に大きな増減はない－

前回調査(昨年)と比べると、特に大きな差はみられない。

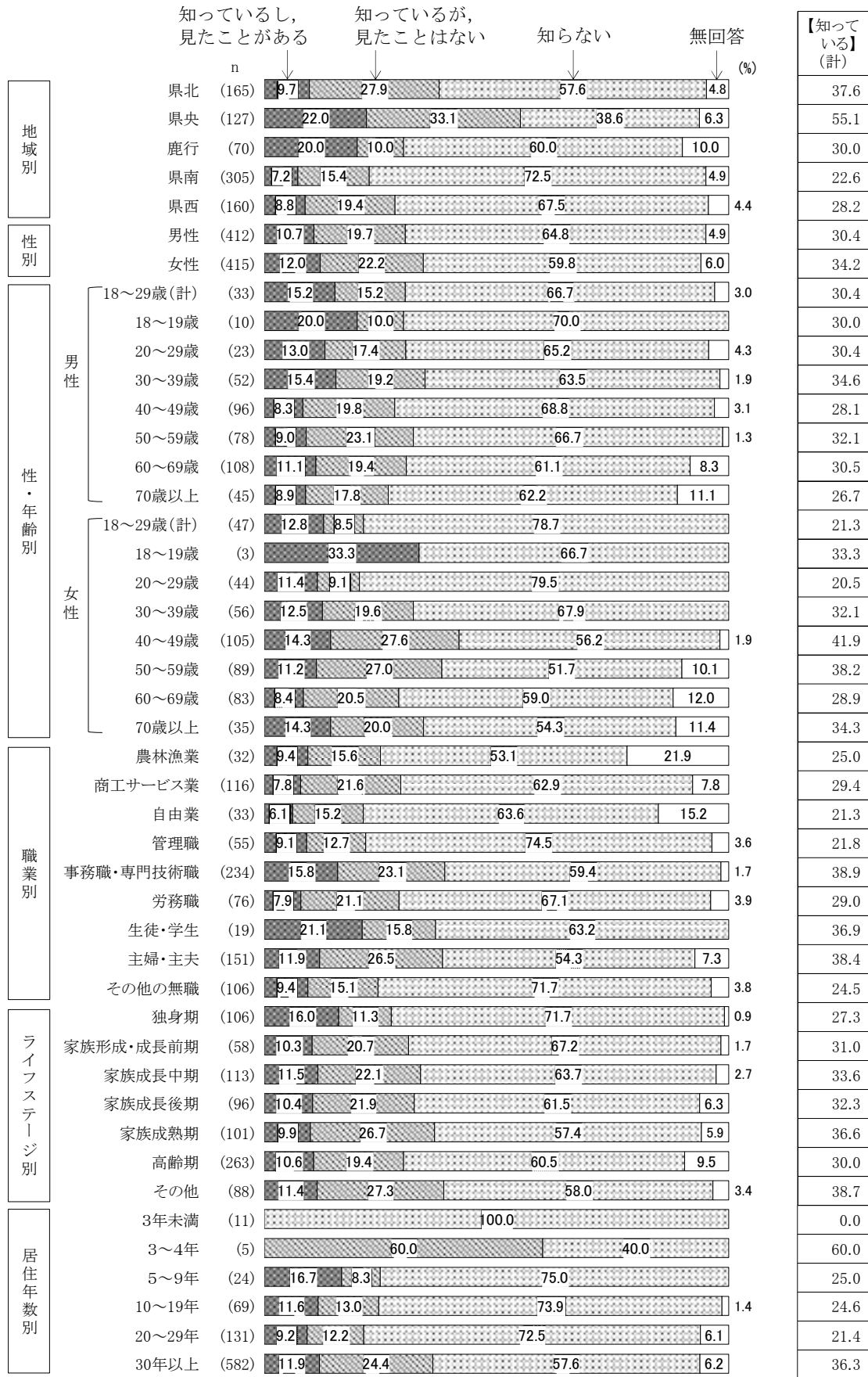
－県央で【知っている】が5割台半ば－

地域別でみると、【知っている】は、県央(55.1%)で5割台半ばと最も高くなっている。

－女性の40代と50代で【知っている】が約4割－

性・年齢別でみると、【知っている】は、女性の40代(41.9%)と50代(38.2%)で約4割と高くなっている。

図 XV 46-1 「いばキラTV」の認知度
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。